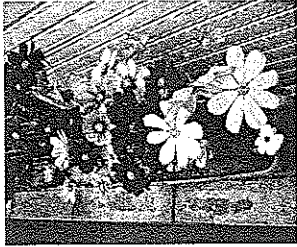
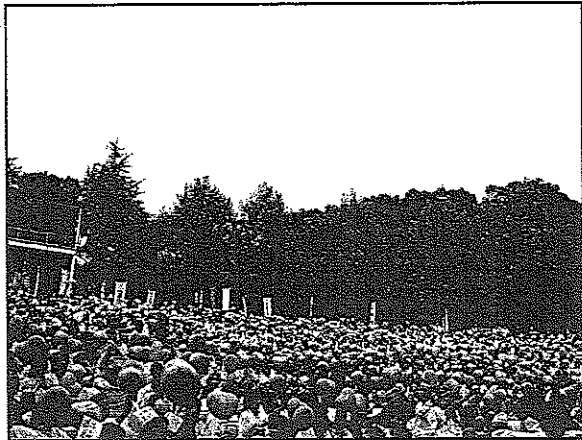


日本医労連 関信地方協女性学習会



2008・10・17

日本医労連女性協
太田 千枝子



- 10・18集会5100人の参加
- 全野党からの挨拶、全党からのメッセージ
- 自治体首長や病院長からの賛同・メッセージ
- プロ野球選手会、主婦連などの賛同
- 小児科学会など32団体からのメッセージ

本田医師

清水國明さん



国会議員と一緒に宣伝行動(広島)



07年7月 国会での採択は
画期的！

- 医師・看護師など医療従事者を大幅に増員すること
- 看護職員の配置基準を、夜間は患者10人に対して1人以上、日勤時は患者4人に対して1人以上とするなど、抜本的に改善すること
- 夜勤日数を月8日以内に規制するなど、「看護職員確保法」等を改正すること

私たちの働く医療は
どうなっているか。



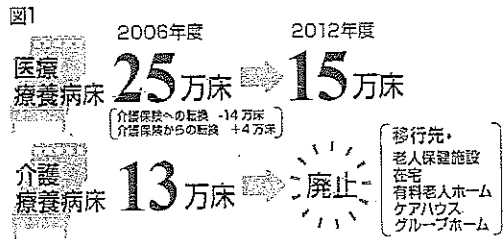
医療・介護難民

2006年6月1日現在

- 国民健康保険料滞納世帯数
4,805,582 (+104,172)
- 資格証明書交付世帯数
351,270 (+31,944)



病床つぶし・患者追い出し



さらなる改悪が行われようとしている

長寿を喜べない、高齢者医療の大改悪

後期高齢者(75歳以上)医療制度の創設
75歳以上の高齢者の医療費の自己負担割合を4割(75歳未満は2割)に引き上げ、75歳以上の高齢者の医療費の自己負担割合を、75歳以上の高齢者の医療費の自己負担割合に引き上げる。

75歳以上の高齢者の医療費の自己負担割合を4割(75歳未満は2割)に引き上げる。

75歳以上の高齢者の医療費の自己負担割合を4割(75歳未満は2割)に引き上げる。

5000億と? 勝手に!

自公内閣は、国の医療予算 **2200億円** も削ろうとしているの?

75歳以上の高齢者の医療費の自己負担割合を4割(75歳未満は2割)に引き上げる。

①産科、小児科が足りない
②長期入院できる病院がない
③保険で良い歯科医療を
④窓口負担が高すぎて、医者にいかれない

ねらいは何か 米日保険会社が儲けること

Affac 「生きる」を創る

- 1位 払い戻し 終身医療保険
- 2位 入替保険 入替保険
- 3位 入替保険 入替保険

①アフラックのがん保険、医療保険

看護職員の労働実態調査

日本医労連2005年秋・29,058名

- 十分な看護が提供できている 8.1%
- この3年間のミスやニアミス 86.1%
- 医療事故の原因は医療現場の忙しさ84.1%
- 仕事をやめたいと思う 73.1%
(5年前64.5%)

離職率12.3% 新卒の離職率9.3%
日本看護協会2006年調査



看護師川柳からみる

新人さん覚えた頃に辞めてゆき
もう終わり、今日の優しさ使いきり
旦那には、薬飲んどけただの風邪
伝えてる、手のぬくもりはパソコンへ
アラームか、いや耳鳴りかと目を凝らす
看護師不足、誇りも化粧もはげおちて

川柳全医労版 1

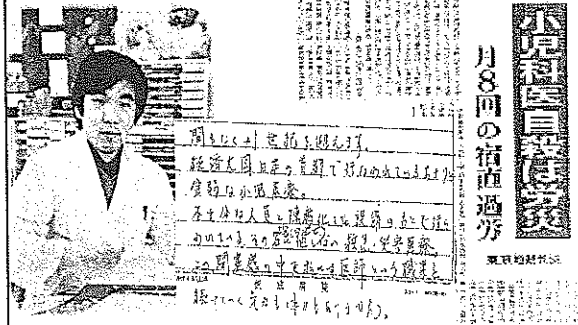
仕事増え、給料増えずに、人が減る
看護師は早寝、早起き、早歩き
ドリンク剤、飲んで乗り切る2人夜勤
準夜勤、終わる頃には日が昇る
今日も研修、明日も研修、また研修
夜勤して、寝て起きるだけで年をとり

勤務医の労働実態調査

日本医労連2006年秋から07年春・1,036名

- 32時間以上連続勤務月3回以上 70%
- 80時間以上の時間外労働 31.2%
- 健康不安・病気がち 43.2%
- 職場をやめたいと思う 52.9%
- 医師不足を感じている 90%

あなたの子供のいのち、疲れ切った小児科医に
まかせますか？

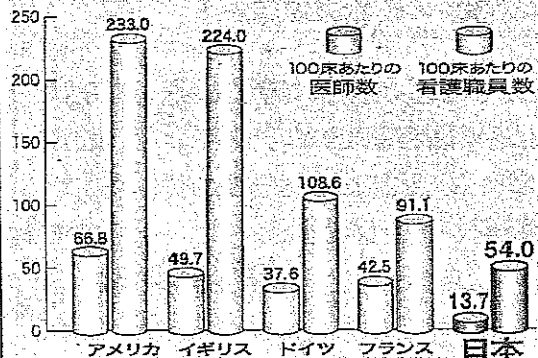


私の病院に来て下さいと言えるか

- 私の病院には労働組合があります
- 安全・安心の医療に努力しています
- 経営者に増員や安全な機器等を要求しています
- 増員闘争もしています

私の病院に安心して来て下さい

こんなに少ない日本の人員体制



出典：OECD資料から厚生労働省作成の資料

絶対数が少ないのだ

日本の医師・27万人、看護職員130万人

- WHO(192ヶ国) 2006年(人口1000人対比)
看護師数 27位 医師数 63位
- OECD(30ヶ国) 2006年(人口1000人対比)
看護職員数 14位 医師数27位

医師数は12万人も足りない

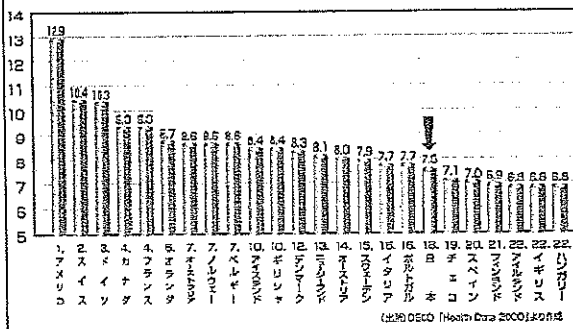
「なぜ争奪戦になっているのか」

7:1(1.4:1)が新設された

18年ぶりに配置基準が引き上げ
これは私たちの長年の運動の成果
就業看護師数は増えていない
ベッド削減で対応し病床減の施設も
看護師不足で、地域医療崩壊の危機
基準引き上げを逆手に病床削減

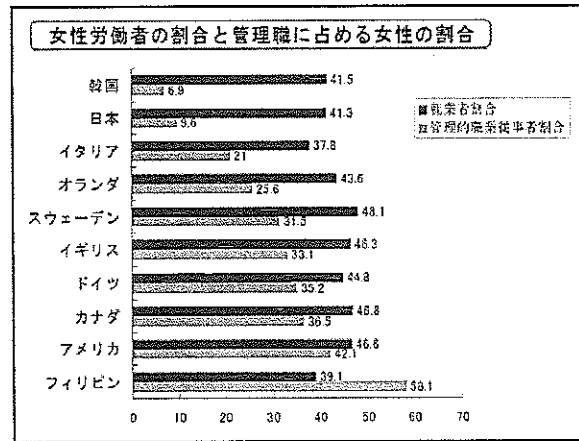
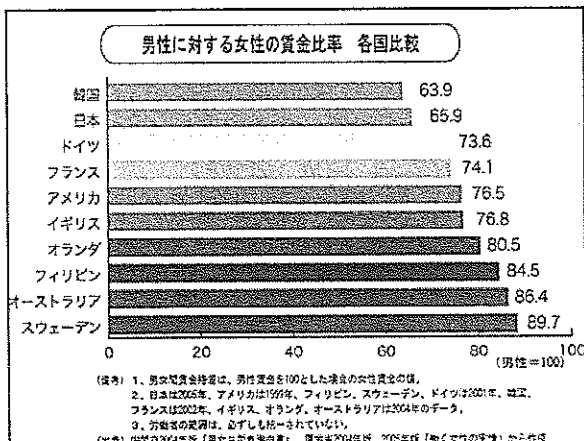
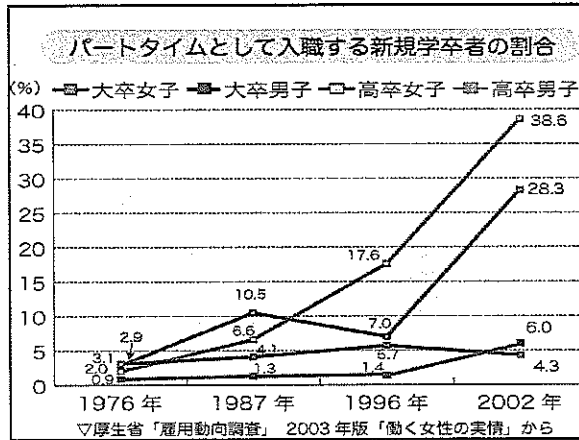
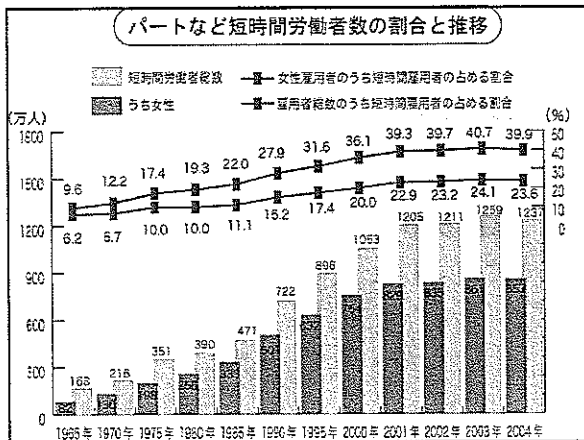
日本の医療費は高いのでしょうか？

医療費/国内総生産(GDP)の国際比較(%) [1996年]



出典：OECD Health Data 2000より作成

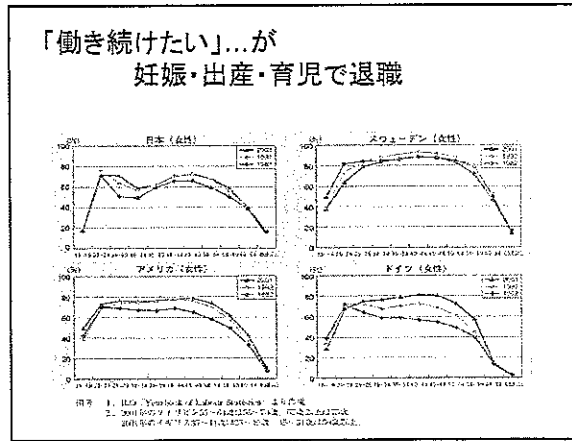
女性の生活と労働はどうなっているか



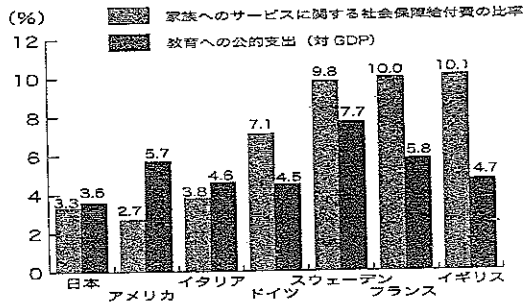
女性の社会進出度 世界順位

順位	国名	GEM値
1	ノルウェー	0.928
2	デンマーク	0.860
3	スウェーデン	0.852
4	アイスランド	0.834
5	フィンランド	0.833
6	ベルギー	0.828
7	オーストラリア	0.826
8	オランダ	0.814
9	ドイツ	0.813
10	カナダ	0.807
11	スイス	0.795
12	アメリカ	0.793
13	オーストリア	0.779
14	ニュージーランド	0.769
15	スペイン	0.745
43	日本	0.534

(備考) GEM: Gender empowerment measure (ジェンダー・エンパワメント指数) 国会議員、企業取締役などに占める女性の割合



家族や教育への公的負担は最低レベルの日本

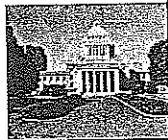


*家族へのサービスは、主に児童手当、特別優遇・年金給付等の育児支援・家庭生活支援に関するもの(2000年)。
 *教育への公的支出は、会計年度内に行政(中央・地方)が行った総支出(00-01年)。
 (出典)『少子化と男女共同参画に関する社会保障の国際比較』(05年9月)

これからどんな運動をするのか

具体的に、法律・制度の改正を迫る

- 看護師確保法の改正(8日以内の夜勤や勤務間隔12時間など、法的規制)
- 看護必要度による増員規制を許さない
- 医師の養成増、抜本的対策
- 医療・社会保障費の増額



辞めない職場づくりが課題

- 労働条件改善(夜勤、超過勤務、賃金)
- 母性保護(妊娠、出産、保育所)
- やさしく、ゆとりある、新人教育
- 夜勤の不安解消(人員、夜勤に入る時期)
- 前近代的な上司はダメ
- 人間関係(話ができる職場)



成果主義賃金は医療を破壊する!



2007年09月10日

看護必要度により増員を止めない

- 増員要求を出す
- 夜勤制限をさせる
- 休暇を取る
- 権利をまもる
- 母性保護
- 学ぶ時間



医療労働者になってになって良かったと思える時代をつくろう

- なにものにもかえがたい、人間のいのちと健康をまもる仕事
- 人間の生存と社会生活に欠かすことのできない仕事
- 社会の経済発展に欠かせない仕事
- 基本的人権、人間の尊厳を守る仕事
- だから辞めずにがんばろう

女性部は、今年も明るく、元気に!!

- 08年度も「3バ=しゃべれば、食べれば、学び・行動すれば=で行こう!」を合言葉に
- 全国各地で女性たちの明るく元気の出る活動を展開し、全加盟組織に女性組織確立に向け奮闘。
- 女性部今年の運動は、3休でいこう。
- 賃金に詳しくなろう。
- ピースチャレンジャーになろう。

女性の働き方をめぐるキーワード

- **ワークライフバランス**
- **次世代育成支援対策推進法**
- **保育・福祉を金儲けの道具にするな、院内保育所に公的支援を**
- **パートなど非正規労働者の均等待遇を実現せよ**
- **女性に対するあらゆる差別の撤廃を求めて**

頼りになる、参加したくなる女性部の確立と女性組織の拡大・強化

- (1) 頼りになる、参加したくなるような活動
- (2) 機関会議の重視と代表参加の保障
- (3) 中央・地方の女性交流集会の開催と成功
- (4) 全ての加盟組織に女性部・女性組織の確立
- (5) 組織拡大の推進と若い女性幹部の育成
- (6) 女性組合員や女性部役員の学習の重視
- (7) 女性参加比率の向上

世界の女性の憲法 女子差別撤廃条約

- 1979年(昭和54年)国連総会で採択
1945年(昭和20年)
創立以来、基本的人権と男女平等
1975年(昭和50年)国際女性年
この年、第1回世界女性会議の決議に基づきこの条約を採択
- 1985年(昭和60年)日本、批准
批准にあたり、国内法の整備として男女雇用機会均等法を制定

女性がいきいきと働き続けられる職場をつくるため、女性部活動を強化しよう。

完